

The Rotary Club of KOBE-NORTH

Weekly  Bulletin

NO. 39 通算 2028 回

2016~2017 年度 RI テーマ



人類に
奉仕する
ロータリー

ROTARY SERVING HUMANITY

クラブ会長のテーマ

「元気で楽しい例会を」

— 身体も心も —

会長 八十島 典子 幹事 茅園 建新

今週の例会プログラム(5月12日)

「態癖の影響について」

大塚 重雄会員

ソング: 君が代・それでこそロータリー

次週の例会プログラム(5月19日)

「灘のお酒で乾杯」

西村 文茂会員

ソング: 茶摘み



【平成 29 年 4 月 28 日の例会より】

≡ 会 長 報 告 (八十島会長)

明日からゴールデンウィークが始まります。世の中浮かれています。明日は地区協議会がありますので担当委員の方々は出席よろしくお願ひいたします。

今年の初めから議題にあがっていましたが例会日の変更の件、皆様に確認させていただきなんとか金曜日から月曜日に変更しても良いということになりました。

そこで、これから臨時総会を開いて決をとりたいと思います。(会員の半数以上が出席されますので、会は成立いたします。) → 異議なし。

それでは、あらためて当クラブの例会日を金曜日から月曜日の午後 6 時 30 分に変更させていただいてよろしいでしょうか。 → 異議なし。

これをもちまして、来年度より例会日は月曜日の午後 6 時 30 分からということになりました。皆様、ご協力ありがとうございました。

そこで、来年度のガバナー公式訪問が 12 月 11 日(月)となりましたので、次期の理事役員の方々、クラブ協議会の日程を決めてください。よろしくお願ひいたします。

以上、皆様ご協力ありがとうございました。

≡ 幹 事 報 告 (茅園幹事)

✽国際ロータリー日本事務局経理室より

1. 5月のロータリーレートは1ドル110円になります。(4月は116円)

✽ガバナー事務所より

例会場 ANAクラウンプラザホテル神戸 9F 〒650-0002 神戸市中央区北野町1丁目1 TEL. 078-291-1121
例会日 金曜日 18:30~19:30
事務局 ANAクラウンプラザホテル神戸 11F 〒650-0002 神戸市中央区北野町1丁目1
TEL 078-231-2211 FAX 078-231-2211
E-mail: info@rotarykn.com ホームページ: <http://rotarykn.com>

2. 5月21日(日)神戸まつりにポリオ撲滅パレードへのご参加お願いが届いております。
日時:5月21日(日)12:30~14:30
場所:フラワーロード
3. 日本のロータリー100周年委員会設立趣意書が届いております。回覧します。
4. 次週例会は、定款に定めた休会です。お間違えの無いよう宜しくお願い致します。

委員会・同好会報告

・プロバス委員会

石田委員長

神戸北プロバスクラブ 5月例会のご案内

日時:5月10日(水) 13:30~15:30 場所:鈴蘭台地域福祉センター TEL078-595-0272

内容:①平成29年度役員について ②平成28年度活動状況と平成29年度活動計画について

・親睦委員会

岡本井委員長

5月19日(金)の例会終了後、懇親会を予定しております。奮ってご参加下さい。

参加費:3,000円 場所:ホテル36階 Lebel136

・プログラム委員会

美崎委員長

5月例会・6月例会プログラム予定

| 5月12日 | 5月19日 | 5月26日 | 6月2日 | 6月9日 |
|---------------------|-------------------|----------------|-----------------|----------------|
| 「態癱の影響について」 大塚会員 | 「灘のお酒で乾杯」 西村会員 | 「会員卓話」 西岡会員 | 「会員卓話」 大久保会員 | 「会員卓話」 岡本会員 |

本日の例会プログラム

「認知症予防—演歌療法—」

美崎 教正会員

現代日本の社会は高齢化が進み、それに比例して認知症の人も増加の一途をたどり、現在その数役800万人と予想されています。認知症はご承知のとおり生活習慣病としてとらえられ、努力次第で、その予防も可能とされ、様々な試みがなされています。この認知症をはじめ、すべての疾病(生活習慣病)予防を目指し、国民のすべてが行動を起こすことえ、健康寿命を延伸できることが専門家の調査により実証されています。その実態の一例を医師 周東 寛先生の著書「医師のすすめる演歌療法」に見てみたいと思います。さらに医師白澤卓二先生の著書「100歳までボケない101の方法」にも詳しく、生活習慣の点検と改善という三点から分かりやすく詳細、かつ具体的に説明されていますので、機会があれば目を通して頂き、納得できたら、即、実践という行動に移してみましょう。

今回は時間の都合で、勝手ながら詳しい説明は省かせていただきますが、内容の要点をまとめたものをコピーして配布させて頂きましたので、一度目を通して下さい。特に演歌療法に関しましては、周東先生の著書「医師が進める演歌療法」に詳しく説明され、自ら実践されています。すなわち自分の病院内にもうけられているカラオケルームをかつようした日常診療の実態とその効果について具体例を示され、健康カラオケは新しい医療の流れにマッチしており、全人的医療、予防医学に「健康カラオケ」は高く評価されていると申されており、ぜひ興味のある方は一度その著書を手にしていただければ幸いです。

さらに、このプロジェクトは、2009年に長野県の補助対象事業に選定され「歌声の響く元気上田!!」大プロジェクト実行委員会(実効委員長 斎藤恵理子)の業績が紹介され、この運動の展開により長野県は日本一の長寿県にのしあがって来た現実が紹介され、そして、この運動は全国に広がり老人福祉施設でも採用され、多くの参加者に健康と生きる喜びをもたらし、途絶えがちな人と人とのコミュニケーションの活性化を生み出し、高齢者の生きがいづくり、

